

魅力都市さっぽろ シティプロモート戦略

平成 24 年 1 月
札幌市

まえがき

このシティプロモート戦略の策定にあたっては、特別な思いがありました。ちょうど1年間の内容検討が終わり、戦略の骨格案ができた頃、折しも2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。震災とそれに伴う原発事故は、世界の国や都市に、これからの人の生き方、暮らし方を問い直すことになりました。札幌市の新しいシティプロモート戦略の中で考えていたことは、次の様なことでした。

**都市間競争に勝ち残ることを考えて行動するのではなく、
北海道のため、日本のために、そして世界のために、
どんな貢献ができるのか。どんな価値を提案できるのか…
札幌は、世界にどんなメッセージを伝えていけばよいのでしょうか？**

人口減少社会に突入し、世界の社会経済情勢にも大きな変化が生まれている中、札幌市の都市戦略にも転換が求められています。

それは、東京から見た観光地としての定番イメージを大量消費してきた時代からの脱却であり、右肩上がりの経済成長時代につくられたカネやヒトの量的増大をベースとした考え方の見直しです。

そして、札幌は自らのライフスタイルの中に本当の住みよさを再発見・再発信して、その魅力に創造性を掛け合わせて新たな魅力を生み出し再生していく決意をしました。

大震災以降、このような思考の転換は、より明確かつ重要になったのではないかと思います。

これまでも札幌市は、1992年に平和都市宣言、2006年には創造都市さっぽろ宣言、2008年には環境首都・札幌宣言、そして自治基本条例、市民まちづくり活動促進条例、札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例の制定など、時代の変化に応じて都市としてのあり方を表明してきました。

震災後に、私が行った脱原発依存も札幌が新たに選択した意志表明のひとつです。

このように都市が生き方を表明し、市民が新しい未来を選択することで、こうした価値観に賛同する人々が札幌を愛し、訪れ、住んでくださるのだと思います。そして、そんな方々と一緒にまちの魅力を味わい発信していく。これこそが新しいシティプロモートのあり方になっていくものと考えております。

札幌市は、新しい未来への歩みを進めるため、シティプロモートのコンセプトに「笑顔、スマイル」を掲げることにいたしました。子どもたちの笑顔を守るために、この街に暮らす人々や訪れる人たちがいつも笑顔であふれているように、札幌市は笑顔をたたえながら前に進んでいきます。

SAPPORO

笑顔になれる街

私たちはここに、未来に向けて強く明るく生きる意志、笑顔を守る意志を世界に向けて発信します。

平成24年1月 札幌市長 上田文雄

わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”



2011年7月18日に市民がさっぽろの未来を語る「さっぽろ1000人ワールドカフェ」が開催され、札幌の未来を考え、想いを共有しました。これらは話し合われた中で市民が望む、これからのさっぽろの主なキーワードを抜粋したものです。

あなたは「サッポロの魅力」を
大切な人たちに語ることができますか？

目次

I 札幌市におけるシティプロモートの目的と役割	7
1. シティプロモートの考え方	8
2. シティプロモートの目的と役割の変化	9
3. シティプロモート戦略の位置付け	10
II 札幌のポジショニング	11
1. 札幌の姿	12
2. 札幌の見え方	14
3. 札幌の魅力資源	18
III シティプロモートのゴール	29
IV 基本方針	33
1. 3つの基本方針	34
2. 札幌の魅力が伝わるプロモーション	36
3. 効果のポジティブフィードバック	36
V シティプロモートの展開	37
1. 事業展開の視点	38
2. 個別戦略事業	39
3. 重点取組分野	47
4. 東日本大震災に向けた取組	50
VI シティプロモートの推進	53
1. シティプロモート推進の基本的考え方	54
2. シティプロモートの推進イメージ	55